

みずほCustomer Desk Report 2023/02/14 号(As of 2023/02/13)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示値	131.79
TKY 9:00AM	131.54	1.0679	140.42	1.2050	0.6913		
SYD-NY High	132.91	1.0730	142.37	1.2151	0.6973		
SYD-NY Low	131.11	1.0656	140.39	1.2031	0.6891		
NY 5:00 PM	132.41	1.0725	142.01	1.2141	0.6966		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)		
NY DOW	34,245.93	376.66	日本2年債	▲0.0600%	▲0.0100%		
NASDAQ	11,891.79	173.67	日本10年債	0.5000%	0.0100%		
S&P	4,137.29	46.83	米国2年債	4.5196%	▲0.0049%		
日経平均	27,427.32	▲ 243.66	米国5年債	3.9113%	▲0.0166%		
TOPIX	1,977.67	▲ 9.29	米国10年債	3.7026%	▲0.0400%		
シカゴ日経先物	27,715.00	110.00	独10年債	2.3730%	0.0090%		
ロンドンFT	7,947.60	65.15	英10年債	3.3980%	0.0010%		
DAX	15,397.34	89.36	豪10年債	3.7840%	0.0680%		
ハンセン指数	21,164.42	▲ 26.00	USDJPY 1M Vol	13.91%	▲0.39%		
上海総合	3,284.16	23.49	USDJPY 3M Vol	12.99%	▲0.03%		
NY金	1,863.50	▲ 11.00	USDJPY 6M Vol	11.84%	▲0.07%		
WTI	80.14	0.42	USDJPY 1M 25RR	▲0.99%	Yen Call Over		
CRB指数	272.79	0.12	EURJPY 3M Vol	12.19%	▲0.07%		
ドルインデックス	103.35	▲ 0.28	EURJPY 6M Vol	11.50%	▲0.09%		

東京	東京時間のドル円は131.54レベルでオープン。序盤から日米金利差の拡大を意識したドル買いを背景にドル円は底堅く推移。131円台後半ではもみ合う場面も見られたが、14日の米CPIを前にドル買いが継続。結局、132円台を回復し132.22レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、132.22レベルでオープン。日銀人事への思惑で、急激な引き締めへの懸念がやや和らいだとの見方で円が下落。一時132.76まで上昇するが結局132.44レベルでNYに渡った。その動きにつられクロス円も上昇した。
ニューヨーク	海外市場のドル円は131円台半ばでスタート。先週のサプライズ報道を受けて、日銀総裁人事を巡る不透明感が後退したためか、円売り優勢の流れとなり、先週9日(高値131.83)や10日(高値131.90)に上抜けできなかつた132円を難なく突破。その後も円売りの流れは止まらず、一時132.76まで上昇後、132.44でNYオープン。朝方は米長期金利の上昇がサポートとなり、ドル円は上昇を再開。その後、米金利が低下に転じるも、今度はクロス円の上昇につれ高となり、132.91まで高値を更新。しかし、14日に注目イベントとなる米1月CPIを控える中、節目であり、一目均衡表雲下限となる133円ちょうどの手前では失速し、買いは一服。午後は持ち高調整の売りが中心の動きとなり、終盤には132.26まで下落後、結局、132.41レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台後半でもみ合い、1.0692レベルでNYオープン。朝方は米金利がじりじりと低下したことや欧州株の堅調推移がユーロ買いをサポートし、1.0720近辺まで上昇。午後は一時1.0730まで上昇する場面もあったが、14日に米CPIを控え様子見ムードが広まる中、更なる上値追いは限定的だった。結局、1.0725レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上野・木村

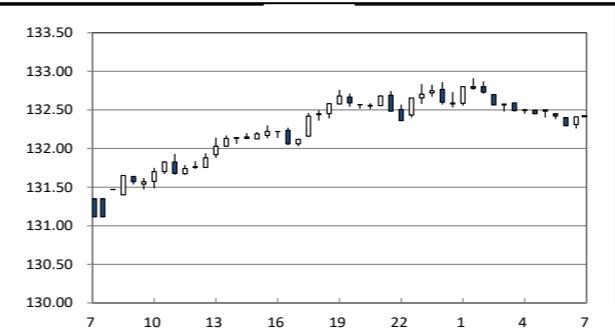
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月13日	22:00	米 ボウマンECB理事 講演	インフレ抑制のため利上げ継続が適切	

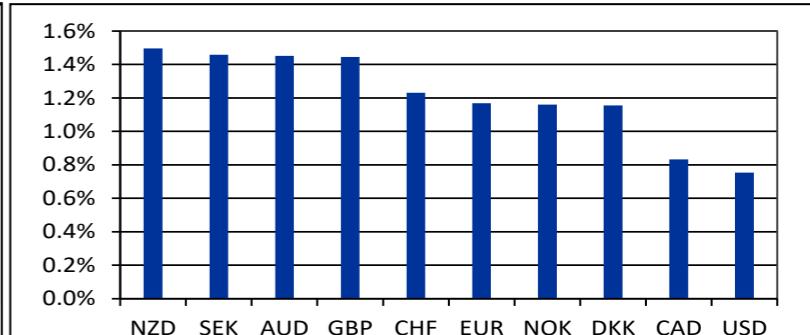
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月14日	08:50	日 GDP(前期比/前年比)・速報	4Q P	2.0%/0.5%
	13:30	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	12月	-
	16:00	英 週平均賃金(3ヵ月/前年比)	12月	6.5%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	4Q P	0.1%/1.9%
	22:30	米 CPI(前月比/前年比)	1月	0.5%/6.2%
	23:30	米 バーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-
	01:30	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
2月15日	04:05	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	131.50–133.50	1.0650–1.0750	140.00–143.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は上昇。先週の日銀人事のサプライズ報道を受けた円売り・ドル買いの流れから堅調な推移が継続。海外時間にかけてクロス円の上昇もサポートとなり、132.91まで上値を拡げた。一巡後は132円台前半まで反落し、132.41レベルでクローズ。本日は米CPIの発表を控えているほか、FED高官の講演等のイベントが相次ぐ。今後の米金融政策の動向を占う上で重要な局面ともいえるだろう。市場予想・見通しから乖離した結果・発言が出た場合は相場が動意づく可能性もあるが、インフレ懸念が後退している状況下、大きな分岐点にはなりにくい。